

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 愛知教育大学附属幼稚園 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒 461-0047

愛知県名古屋市東区大幸南1-126

E-mail www-k-kinder@m.auecc.aichi-edu.ac.jp

Website _____

幼児児童生徒数 男子 69 名 女子 53 名 合計 122 名

幼児・児童・生徒の年齢 3歳 ~ 5歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当園は、「感性豊かで思いやりのある子ども」を教育目標として、ESDの実践を通して、感じる心の育成を目標とした。

具体的には、①食育・植物の栽培にかかわる活動、②生き物にかかわる活動を行った。

① 食育・植物の栽培にかかわる活動

ア 夏野菜の栽培

子どもたちが、季節に応じて、幼稚園の花壇とプランターにトマトやナス、キュウリ、ピーマン、オクラ、タマネギ、サツマイモ等の野菜の苗やパンジーの苗を植え、水やりをして育てた。また収穫できた野菜を食べた。

イ 野菜の収穫(芋掘り)

毎年、大学の自然観察実習園にバスで出かけて行われている年長組のジャガイモ掘り、年中組のサツマイモ掘りを29年度も実施した。幼児教育専修の学生さんにも手伝ってもらいながら、子どもたちは、自分の手やスコッ

プで土を掘って大きな芋を沢山掘り上げることができた。子どもたちが収穫したジャガイモは、園の花壇で採れたタマネギや買ってきた人参等と一緒に、年長児が自分たちで調理してカレーを作ってカレー会食をした。また、ジャガイモもサツマイモも、職員にふかしてもらい、全学年おやつとして食べ、収穫の喜びを味わった。

ウ 草花に触れる

5月から6月ごろ、園のプランターや花壇で育てているパンジー、ビオラなどの花を使って色水作りを楽しんだ。色が出る不思議さを感じたり、濃さや色の変化などを試行錯誤しながらいろいろな気づきをしたりした。

② 生き物にかかわる活動

ア 動物を飼育する

アイガモ2羽・ウサギ3羽を飼育している。子どもたちが毎日人参やキャベツを刻んだり、園庭に生えている草をちぎったりしてあげている。

また、広いウサギのサークルにウサギを放し、子どもたちがウサギが走り回る様子を間近で見るほか、抱き上げたり膝の上に乗せたりして直接触り、ウサギの毛の柔らかさ・体の形・重さを体感したり、ウサギへの愛着心を育むことができた。

園の入口にあるアイガモ牧場と名付けた広いサークルの中を自由に動き回ったり、コンクリートの池を泳いだりするアイガモの様子は、在園児とともに弟妹や保護者も一緒に楽しんで見ることができ、親子のほっと和む触れ合いのひとつとなっている。

イ ビオトープ清掃

6月にビオトープ協会の方に協力していただき、園内のビオトープの池を年長児が池さらいをした。池の水をすくって、ヤゴ、メダカ、タニシなどの生き物を種類ごとに分けて水槽に入れた。池の中の生き物を間近に見たり触れたりする日ごろできない体験をして、子どもたちは驚きや発見に大きく心動かしていた。生き物についてビオトープ協会の方から説明をしてもらったり、疑問に答えてもらったりして、池の生き物に対する関心を高めることができた。

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 したい遊び、園行事)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

・野菜の絵本 (月間絵本) (おおきなおおきなおいも、ねずみのいもほりなど)
--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

計画のユネスコスクールに関する活動を視野に入れて、「ねらい・内容」を立て、それに応じた環境の構成・教師の援助を具体的に考えて、作成している。

活動後に反省会を設けたり、年間計画の反省会でも今年度の活動を振り返ったりして、次年度の計画に生かしていけるようにしている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

年間計画に位置づけて、抜けてしまったり、職員全員で共通理解して行ったりできるようにしている。また、栽培・飼育それぞれの個別の年間計画も作成している。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度)
※チェック事項 2-3 に対応

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)
※チェック事項 2-4 に対応

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

今年度行った活動は、引き続き30年度も行う予定である。
他に同じキャンパス内にある小学校や中学校へも何度か出掛け、四季折々の草花や木の実に触れられるようにしたいと考えている。
園内の虫との触れ合いにも目を向けて、子どもたちがどのように虫との出会いや触れ合いを体験していくようにすると良いのか考えて、環境を整えていきたいと思っている。